

知事へ 令和2年 予算の要望

自民党東三河県議団

来年度予算に対し、自民党東三河県議団として大村知事へ豊川市内の重要課題の必要性を直接、伝えさせていただきました。県議会議員としてもこの重要課題に積極的に取り組んでまいります。

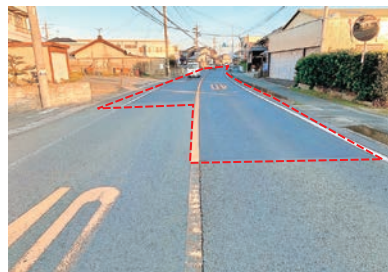
- 1 豊川保健所の建替え
- 2 東三河環状線（大崎工区・三蔵子工区）の整備促進
- 3 国道151号線一宮バイパスの早期整備
- 4 国道23号線蒲郡バイパスの整備促進
- 5 姫街道線の道路改良事業促進と鉄道立体交差区間の早期事業着手
- 6 豊川市の新市基本計画に対する積極支援（都市計画道路国府赤根線のトンネル整備等）
- 7 魅力あふれる東三河ふるさと公園の整備促進
- 8 三河港（臨海道路東三河臨海線）の整備促進
- 9 地域の基幹病院の医師確保及び政策医療に対する支援
- 10 土地改良事業の推進
 - ・豊川用水二期事業
 - ・農業水利施設保全対策事業 橋尾地区
 - ・たん水防除事業 新梅敷地区
 - ・基盤整備促進事業 金沢地区
 - ・調査設計事業 豊川2期地区 他2項目



豊川保健所 大規模改修



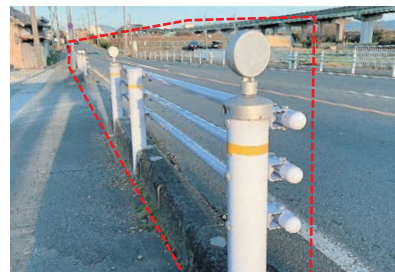
みなさまの声をかたちに! (市内)



県道維持・修繕



歩行者安全確保のため
新しい信号の設置



ガードパイプによる歩行者の安全確保



県道・交差点 逆走を含めた交通安全対策



災害に備えて河川の整備

藤原ひろき政策

政治は、誰がやっても同じではありません!

藤原宏樹

みなさまの声を
ぜひお聞かせください

お問い合わせ

藤原ひろき事務所

〒442-0857 愛知県豊川市八幡町横道93-1
TEL (0533) 56-8338 FAX (0533) 56-8321 E-mail: toyokawa_hiroki@yahoo.co.jp
県議会議員 藤原ひろきオフィシャルウェブサイト <http://fujiwarahiroki.com>

県議会議員 自由民主党 愛知県議員団所属

藤原ひろき 動!

県政レポート

Vol.19 2020年



本会議にて姫街道アンダーパスの早期実現を!!

豊川市内の幹線道路整備について

令和元年9月
本会議にて

要望
しました!

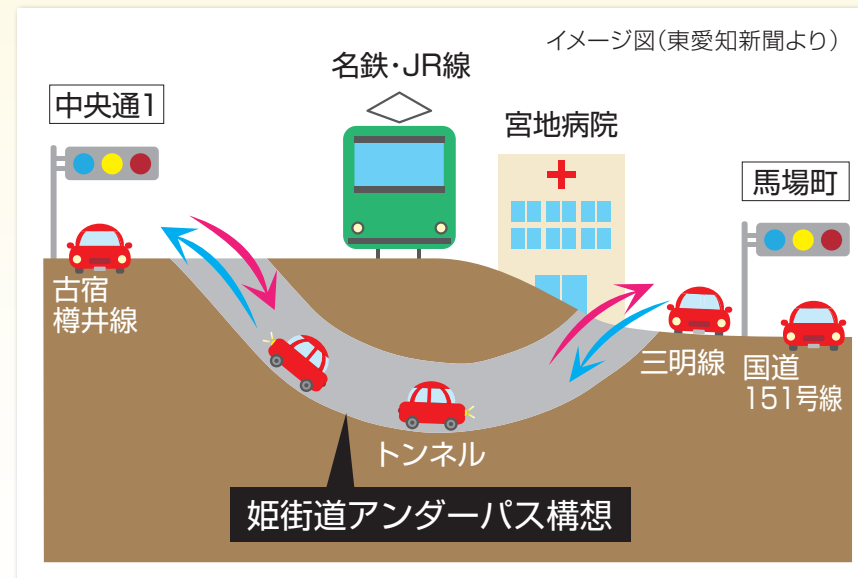


現在の我が地域の状況は、名豊道路未開通区間の影響により国道1号をはじめ、豊川市内の中心を通っている都市計画道路姫街道線から生活道路に至るまで朝・夕は慢性的な渋滞をしており、通学時間帯の子ども達や高齢者の安全・安心の確保が強く求められています。

今後、新たに県下でも最大クラスの大型商業施設の出店の話もあり、期待の高まる中、新たな街の姿を想定した市内の渋滞対策が課題となります。そこで市の中心を走る、都市計画道路姫街道線の積極的な対策を期待します。

本路線は地元の方から、開かずの踏切と呼ばれる箇所の対策としてJR飯田線及び名鉄豊川線との交差部をアンダーパスの構造とする計画があり、地元としても、少しでも早い取り組みが望まれております。

今後県庁一丸となって取り組んでいただくことを要望します。



「豊川市内の幹線道路整備について」

質問しました!

令和元年9月本会議にて

Question 【質 問】

平成24年東三河県庁スタート、地元の市町村・民間組織で10年後の「東三河振興ビジョン」策定。

本年度「交通基盤の整備と利便性向上の推進」をテーマに東三河の交通基盤整備。

三河港は、自動車の輸入台数・金額とも26年連続で日本一。

自動車を中心に産業の集積地、「ものづくり」の地域です。

スポーツや観光に、蒲郡のセーリング世界大会・新城ラリー・田原のサーフィン世界大会など、世界・全国レベルの大会、芝桜の茶臼山高原・三大稲荷の豊川稲荷などの資源が豊富。

東三河の農業産出額は、本県3,233億円の半分、全国20位の秋田県並で、さらに商業・農業・工業有する。東三河は沿岸・山間の両地域あり、東日本大震災や豪雨等の、巨大地震・津

波・洪水・土砂災害の不安が高く、医師不足等の医療体制や高齢化社会の福祉体制の維持・充実への、交通基盤の整備等が課題。

豊川市は東名高速の豊川IC、音羽蒲郡ICの交通結節点を核に、地域間交流を促進・地域の賑わい・活力を引き出し、発展へ。国が名豊道路の整備推進し、東三河と県内外を繋ぐ道路ネットワークが進行中。豊川市と東三河の強化は、国道151号・東三河環状線、名豊道路の金野インターへの豊川蒲郡線の整備が必要。

豊川市内で事業中の一般国道151号・東三河環状線・豊川蒲郡線の進捗状況と、今後の取組についてお伺いします。

Answer 【答 弁】

国道151号

● 国道1号線と151号が交差する宮下交差点の立体化、東名高速道路豊川IC～新城の約8Km一宮バイパス推進中。宮下交差点の立体化は、国道151号の切り直し工事に着手。一宮バイパスは市内の約3.6Km区間用地取得9割、昨年度本線の工事着手。豊川市から新城市の区間約4.4Km路線測量に着手。

東三河環状線

● 順次バイパス整備を進め、現在は3箇所まで推進。市街地北部の大崎工区、三蔵子工区は、用地の確保区は道路築造工事を推進、今年3月に一般県道三蔵子一宮線から都市計画道路古宿樽井線の区間が開通。豊川市～豊川～豊橋市の、石巻本町・当古工区は、豊橋市側用地買収中。豊川市側は今年度測量と道路設計に着手。

豊川蒲郡線

● 仮称金野インターチェンジ付近、用地取得が完了。

「ICT、プログラミングの普及について」

質問しました!

令和元年9月本会議にて

Question 【質 問】 教育コンピュータ普及率全国ワースト3位

世界のスマホ普及率は、2017年世界人口76億人中約40億人、半分以上が使用。国内は75%でパソコンより多い。

ビジネスマンの鞆の中は財布・手帳・携帯電話・書籍、今はスマホで用が足り「電話・支払い・スケジュール管理・読書・情報収集・健康管理等」できる時代。人工知能(AI)で、物流が最適化し、社会や生活が変わると予測。

新たな社会は少子高齢化・地方の過疎化などイノベーションで克服、ロボットや自動運転で人の支援、AIで作業の簡素化、高い技術で経済発展と社会的課題解決の世の中へ。

社会・生活の激変する時代、子どもは知識・技能を覚え、習得した知識・技能の活用が重要。

文部科学省の新学習指導要領は情報教育・ICT教育の活用能力を言語能力と同じに位置づけ、学校のICT環境整備

とICT学習活動の充実。

各小中学校でプログラミング教育時に現場が混乱しない・教員が困まらない準備が必要。

来年4月に実施されるプログラミング教育の本県としての取り組み、また今後どのように取り組んでいくのかお伺いします。

学校のICT整備状況は、2017年度調査で教育用コンピュータ1台当たりの平均は、児童生徒数は5.6人。普及率が一番高い佐賀県は1台当たり1.8人。

本県は1台当たり約8人、全国ワースト3位と低い。

本県におけるICT環境の整備の現状と今後の取組についてお伺いします。

Answer 【答 弁】

プログラミング教育

● 市町村間でバラツキが現状。県教育委員会は、本年3月「小学校プログラミング教育の在り方」をまとめ、授業に取り組む実践的な事例集を発行。来年度全ての小学校で実施する取組指針を作成、推進体制を整える。

小中学校のICT環境

● 各市町村の認識に差があるのは事実。「学校教育の情報化の推進に関する法律」公布、施行。ICTの整備が推進されるよう働きかける。国のアドバイザー派遣、ICT活用教育説明会の参加を促し、ICT機器整備やプログラミング教育の推進・啓発を支援。



「本県のスポーツ推進について」

質問しました!

令和元年9月本会議にて

Question 【質 問】 運動能力 全国最下位レベル

来年は、東京オリンピック・パラリンピック2020が開催。

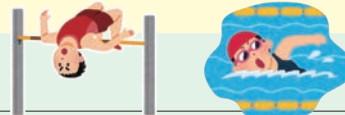
「スポーツ王国愛知」の、小・中学生の体力・運動能力は、全国の小学5年生、中学2年生の体力・運動能力、運動習慣等の昨年の調査結果は、小学男子47位、小学女子46位、中学男子46位、中学女子41位、小学男子は平成26年から5年間連続で最下位。

今年度から、2026年アジア競技大会で活躍できる地元選

手の発掘・育成を目的とした、あいちトップアスリートアカデミー事業がスタート。地元選手の活躍で、地域の応援が大きくなります。

アジア競技大会に向けた本県の選手育成の進捗、および、現状と今後の考え方についてお伺いします。

子どもたちの体力・運動能力向上の本県の取組をお伺いします。



Answer 【答 弁】

あいちトップアスリートアカデミーについて

【知事答弁】

愛知県ゆかりの選手が東京オリンピック日本代表で続々と内定。あいちトップアスリートアカデミーは、未来の愛知のアスリート選手を発掘・育成する取組です。アカデミー生は、オリンピックやアジア競技大会の日本代表との活躍を期待。2026年アジア競技大会で金メダルを取れる選手が現れることを目標に運営し、未来のトップアスリートの卵を大いに応援する。

【スポーツ局長答弁】

アジア競技大会の成功は、本県の選手の活躍が重要で、あいちトップアスリートアカデミー事業はアジア大会やオリンピックなどで活躍する地元選手の発掘・育成を目指します。

2019年度はキッズ59名、ジュニア57名、ユース11名 計127名を選考。

県内の競技団体・大学関係者の協力や、競技体験や専門的な指導を受け、必要な栄養学・スポーツ教養の講義も受講。

自らの能力を発揮できる、一人一人に育成。

7年後の愛知・名古屋で開催、アジア競技大会の日本代表が目標です。

運動能力向上について

【教育長答弁】

2016～2020年度を計画期間「あいちの教育ビジョン2020」、「子どもは面白いから運動をする」を基本に「体力向上運動プログラム」の普及、学校体育の充実を取組み小学校で活用。

昨年度の体力・運動能力の点数は全国平均値を大きく下回っている。来年度策定のあいちの教育ビジョンは、運動好きな児童生徒を目標にし、本県小中学生の体力合計点が向上するように取り組みます。

来年度 三河港 港湾計画の見直しへ

豊川市の今後の発展を考え、将来の御津港が、今まで以上に可能性の高い港となるよう目指してまいります。



● 御津航路の活用と企業誘致の促進

● アクセス強化のための東三河臨海線整備要望

● 雇用確保のための御津駅の開発(橋上化計画)



● 輸送コスト削減のための国道23号線蒲郡バイパス開通予定

